

地域の

公共施設の 未来を考える ワークショップ


Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

【第5回】川崎区

令和 6年 11 月 10日(日)

14:00～17:00



記録作成のため、スタッフが写真撮影をします。
NGの方はお近くのスタッフまでお知らせください。

本日の進め方

14:00 川崎市からの説明

14:10 第3回・第4回の振り返りと本日の進め方の説明

14:20 第一部 第3回・第4回の成果の共有（60分）

～他のエリアの成果を共有し、感想を出し合おう～

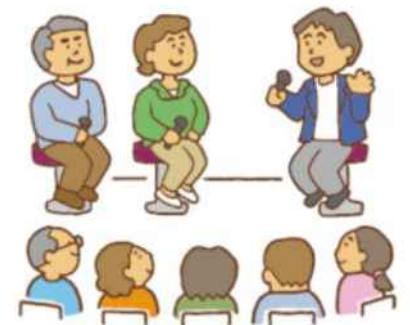
15:20 - 休憩 - （20分） 本日の成果を掲示しておきますので、ご自由にご覧ください。

15:40 第二部 トークセッション（50分）

～トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返ろう～

16:30 今後の予定・アンケート記入

17:00 閉会



1

川崎市からの説明

1 川崎市からの説明①

オープンハウス説明会の結果報告

1 川崎市からの説明①

■オープンハウス説明会 令和6年11月3日（日）

「みんなの川崎祭」にて、この取組のパネル展示や
チラシ配布を行い、広く市民の皆さまに周知しました。
また、公共施設の使い方についてシール投票を行いました。



【パネル展示の様子】



【シール投票の様子】

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

【現地で展示したパネル】

川崎市 総務企画局 公共施設総合調整室

公共施設の未来を考える取組について

シール投票で缶バッジをもらおう！

クイズに答えてお菓子をもらおう！

川崎市

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

川崎市の公共施設を取り巻く現状と課題

市の公共施設の老朽化が進みます

- 市の公共施設は約 1,100 あり、10 年後には約 76% が築 30 年以上に達することから、施設機能の低下や修繕費用の増大など老朽化に伴う課題が懸念されています。
- また建設費は水山の一角で、その後に維持管理費や事業運営費など、約 9 倍の費用が必要となる状況です。

築 30 年以上が約 76%

10 年後の公共施設

B の使用の合計は A の 9 倍！

① 建設費
② 光熱費 ③ 維持管理費
④ 修繕費 ⑤ 廃棄費
⑥ 事業運営費

人口減少への転換が見込まれます

- 市の人口は令和 12 (2030) 年頃における約 160.5 万人をピークに、その後は減少過程への移行が想定される状況です。
- 人口減少に伴い、1 人あたり m² 数 (公共施設の床面積 ÷ 人口) が増加し、公共施設を維持するための市民 1 人あたりの費用負担も増大が見込まれる状況です。

川崎市の将来人口推計

ピーク 減少見込

令和 2 (2020) 年 153.6 万人
令和 12 (2030) 年 160.5 万人
令和 42 (2080) 年 148.7 万人

以上を踏まえると、現状の公共施設をそのまま維持し続けることは非常に困難です

市民負担を要えずに、市民サービスの質の維持・向上を図るためには、当面の人口増加に対応しつつ、公共施設の床面積を増やさない取組を行うことが必要です

資産マネジメントの取組を進めます

- 将来世代の負担が重くならないよう、公共施設の保有財産を適切に管理することが必要です。
- 資産マネジメント第3期実施方針を策定し、「機能重視」の考え方に基づく取組と、資産保有の最適化を重点的に推進します。
- これまで重点的に取り組んでいた施設の長寿命化については、資産保有の最適化を踏まえた上で取組を推進します。

～ 資産マネジメント第3期実施方針の概要 ～

基本的考え方及び取組

みんなでもっとうまく施設を使えないかな？

従来の考え方

特定の目的別、対象者別に施設を整備

子どもが利用する施設
高齢者が利用する施設

「機能重視」の考え方

施設が持つ機能（提供するサービス）に着目し、市民ニーズ等を把握した上で施設を整備

誰でも利用できる機能
高齢者夜間も利用できる機能
子どもや高齢者が利用できる機能

多世代で運動できる機能
多世代でくつろげる機能

利用状況や将来の利用想定等を踏まえ機能のあり方の整理を行い、施設の複合化や多目的化等の手法（※）を用いることにより、施設の適正配置を図るものであり、主に次の取組を検討します。

- 地域の利用状況を踏まえた資産保有の最適化検討
公共施設、人口動態、地域課題などの地域ごとの状況を踏まえた施設の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。
- 機能ごとの資産保有の最適化検討
ホール施設の適正配置や学校プールの最適運用など、同一機能を有している様々な施設機能の適正配置を行い、質の高い市民サービスを安定的に提供するための取組を検討します。

（※）施設の複合化、多目的化のイメージ

複合化 施設の建て替えなどの際に、異なる施設を一緒にします

複合化施設
子どもだけ
高齢者だけ
複合化施設
みんなが利用できる

良い点
● 管理費の削減
● 施設環境の改善
● 利用者間の交流促進など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

多目的化 利用しない時間帯や未稼働のスペースを有効に使用します

昼間だけ利用
夜間も夜間も利用

良い点
● 多様な市民ニーズへの対応
● 施設の利用率の向上など、相乗効果によるサービス向上が図れます。

1 川崎市からの説明①

公共施設の未来を考える取組について、パネル展示を行い市民の皆さまに周知しました。

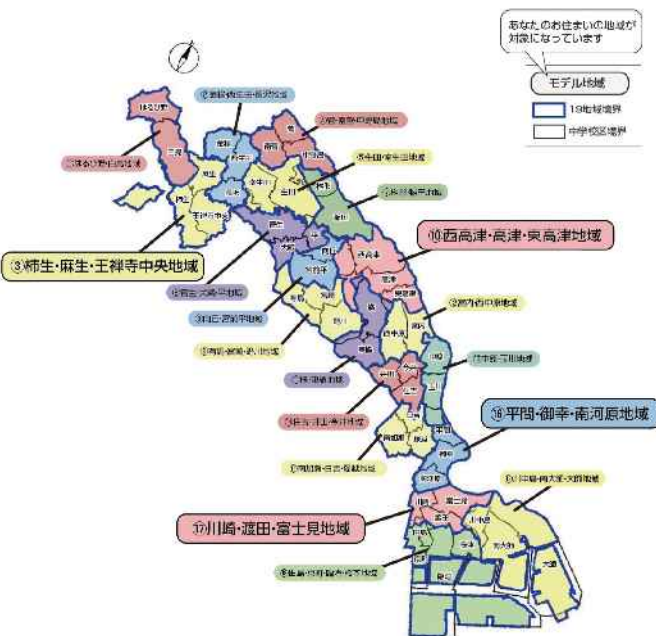
【現地で展示したパネル】



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

4つのモデル地域を選定して検討

地形、鉄道路線・バス路線の状況、町内会・自治会のエリア等も踏まえ、一旦、2～4程度の中学校区単位を基本とし、「地域」の仮設定（19地域）を行いました。19地域の中から、地域の施設の規模・老朽度・利用状況等を基に、モデル地域4地域の選定を行い、令和5年度から検討を開始しています。



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

市民の皆様と一緒に、身近な地域の将来像や、将来に向けて公共施設に必要な機能を検討するワークショップを開催しています。

第1回

公共施設の未来体験ゲーム「カワタン」をやってみよう！

令和5年11月～12月開催

「公共施設の未来体験ゲーム（カワタン）」は、施設の老朽化や人口減少を迎える未来で、公共施設をどのように活用していくか、楽しく遊びながら理解を深められる川崎市オリジナルのボードゲームです。

各グループのキャッチフレーズの例

- IT化が進み元気なシニアが活躍するまち
- 多世代がゆるくつながるまち
- スポーツで元気もICTも楽しめよう！元気なカワタン
- AI（あい）・AI（エ・アイ）で生活学習のまち



第2回

魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えよう！

令和6年2月～3月開催

20年後の川崎市に生活する人物（仕事、家族構成、何歳、趣味や日常の行動）をイメージしたカードを選び、その人物の状況（日常の過ごし方、困り事など）を考えました。その人たちがいきいきと暮らしている地域の将来像を出し合い、魅力的な将来像を実現するための公共施設の使い方を考えました。

各グループのまとめの例

- 集中して勉強・仕事ができるスペースがまちにあることを目指そう
- 駅周辺は賑やかでよいので、利用時間を長くしたり様々な人が使えるように
- 防犯カメラをより活用するために、PR強化、企業との連携、多目的などが大切
- 様々な世代が一緒に過ごせる、生涯学習の場としての施設のようなものがあると良い

ペルソナカードの例



～ 地域ごとの資産保有の最適化について ～

地域の公共施設の未来を考えるワークショップの概要

第3・4回

エリアの将来像を考え、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズを考えよう！

令和6年7月～10月開催

エリアの将来像（暮らしやすいまち）を考え、さらにその将来像を実現するために、公共施設にあつたらいいなと思う機能やニーズについて意見交換しました。第3回目と第4回目は、対象エリアを変えて同じ内容で行いました。

意見の例

- 利用者の若い世代にカフェなどを入れて、交流に立ち寄れるように
- 子供向け施設と老人向け施設を一緒にして多世代交流を
- 仕事帰りでも利用できるよう、夜も開いていると良い
- もっと親しみやすいイメージに



参加者からの声（アンケート結果より）

- 色々な世代の方の意見を聞けてとても参考になった
- 施設の老朽化は避けて通れないから、しっかり考えて魅力的なまちにしていきたい
- 地域の公共施設のことを知る良いきっかけになった
- エリアや公共施設についての資料がわかりやすかった

実施内容は川崎市 HP に公開しておりますので、ぜひご覧ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000157369.html>



1 川崎市からの説明①

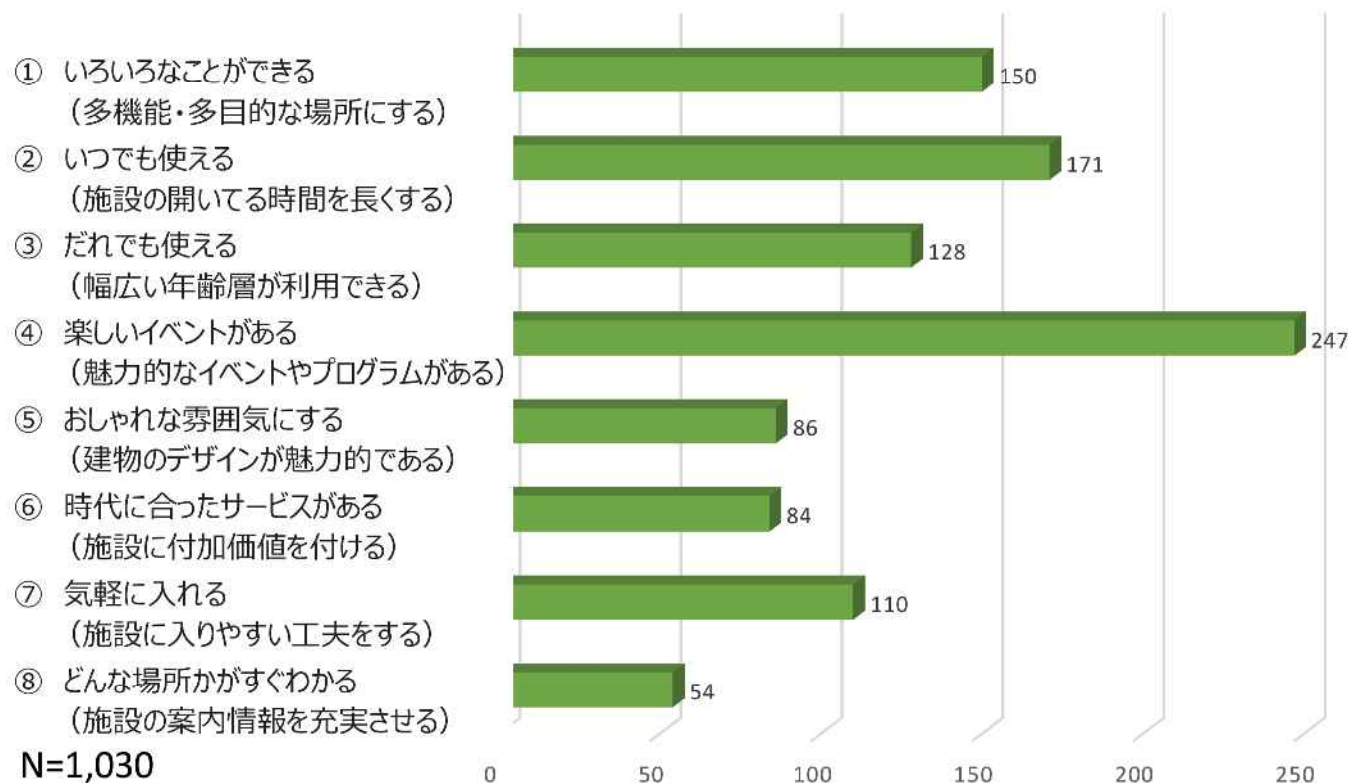
「公共施設がどうなったら使いやすくなるか」について、シール投票を行ったところ、約500名の方に投票いただき、特に小中学生やお子さま連れのご家族の皆様から投票いただきました。

(シール投票していただいた方にはカワタン缶バッジをプレゼントしました)

【カワタン缶バッジ】



【みんなの川崎祭シール投票結果】 公共施設がどうなったら使いやすくなるか



【シール投票パネル】

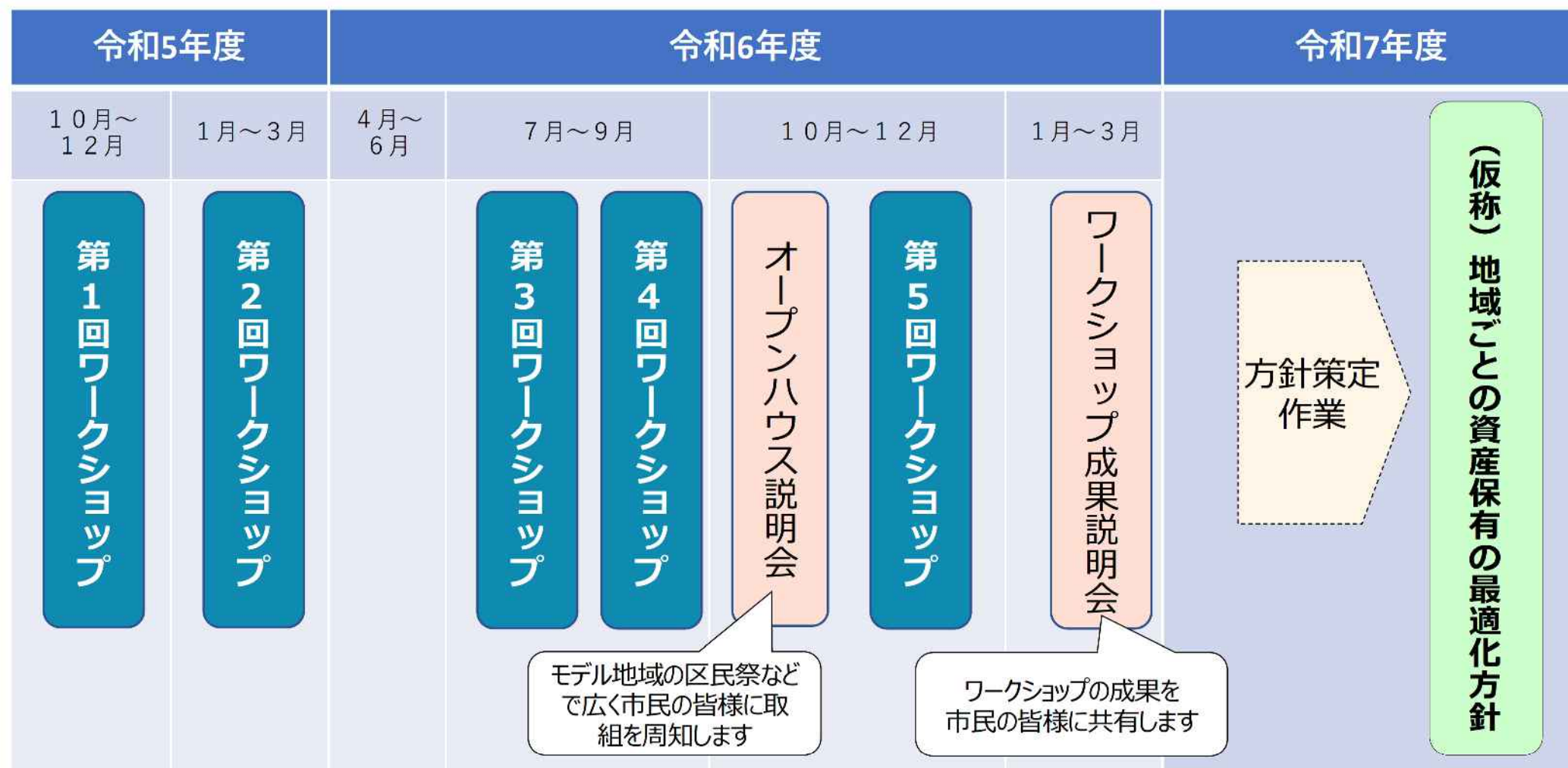


1 川崎市からの説明②

ワークショップについて

ワークショップについて - スケジュール -

地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



ワークショップについて - スケジュール -

令和5年度

第1回

カワタン
体験会

第2回

モデル
地域の
将来像・
施設の
使い方を
考える

令和6年度

第3回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討①

第2回で話し合ったモデル地域の将来像等を踏まえ、その実現に向けて起点施設にあったらいいなと思う機能やニーズ等を考える

第4回

身近な地域の将来像や将来に向けて公共施設に必要な機能の検討②

前回に引き続き、具体的な施設を基に考える
※班ごとに第3回とは別の施設を考える

第5回

第3回・第4回の検討成果の共有とワークショップ全体の振り返り

班ごとに行っていた検討成果を全体に共有し、トークセッションを通じてワークショップ全体を振り返る

2

本日の進め方

本日の進め方

第一部

60分

第3回・第4回の**成果を共有し、感想**を出し合おう

参加していないエリアの意見交換で出された意見を確認しよう

意見についての**感想**を出し合おう

地域の子育て
ママさんには
とても必要なので
ぜひ実現を！

〇〇に加えて
こんな機能も
あると良い

グループを移動し、別の
エリアの意見について**感想**を出し合おう



休憩

第二部

50分

トークセッションを通じて
ワークショップ全体を**振り返ろう**

これまでのご参加に感謝し、感謝状を贈呈

参加者・ファシリテーターによる
トークセッション

これまでの**ワークショップ**を通じた
気づきなどについて、全体で感想を出し合おう

写真撮影



アンケート記入など
今後の予定について

グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (川崎駅周辺エリア、日進町・渡田新町エリア)

地域の公共施設の未来を考えるWS③ 川崎区 2024 3月25日(日)

川崎駅周辺

日進町・渡田新町

① 駅前・憩いの場
面白い個店が増える
昼・夜とも
皆が安心してあそびに来れるまち
多世代に楽しんでもらえる
SNSでシェアできる!!
多世代に楽しんでもらえる

② 住む人も来る人も
みんなが気持ちよく
安全安心に過ごせるまち
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる

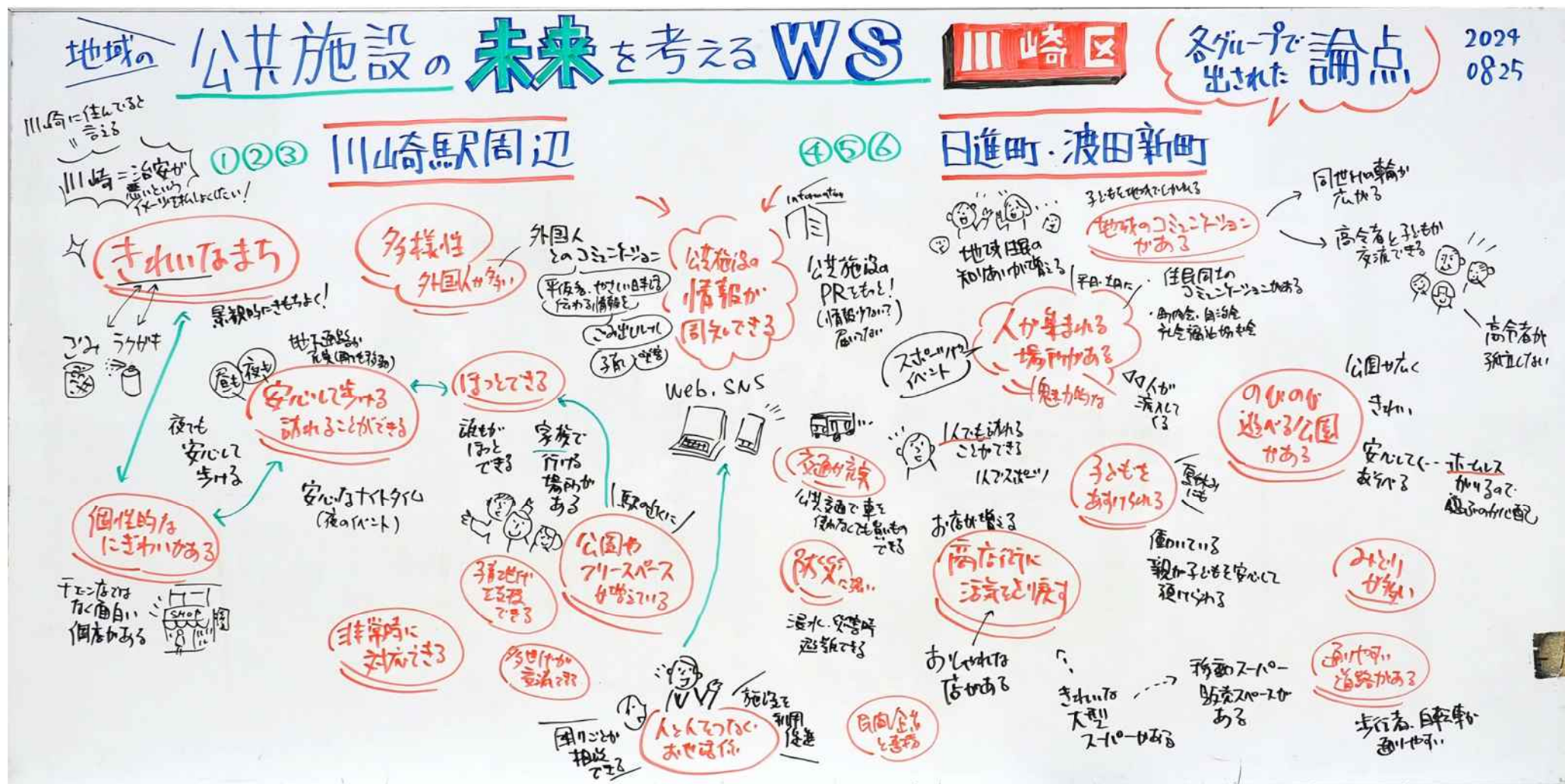
③ だれもが
あそびできる空間
あるまち、きれいな
にぎわいのあるまち
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる

④ 地域のために
目や老若男女
問題に交流の場がある
まち
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる

⑤ 子どもがのびのび
遊べる公園があり
高齢者と子どもの交流など
住民のコミュニティが
公共交通が便利で住民に
防災意識がある
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる

⑥ 高齢者もあひな
歓迎!! 世代を超えて
人が集まる魅力的な場所がある
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる
多世代に楽しんでもらえる

各グループで出された論点メモ (川崎駅周辺エリア、日進町・渡田新町エリア)



グループごとのエリアの将来像と、将来像実現のための主なアイデア (富士見・旭町エリア、大島・渡田エリア)

地域の公共施設の未来を考えるWS ④ 川崎区 2024年9月28日(土)

富士見・旭町

① 栗街者・外国籍の方 (新旧住民)が

根拠なく交流できる
スクラブル交差点にあり

文化・スポーツ・教育の
中心地へ

- ・休日カフェ・アトリエ、暗い入り口
- 平日から使える。子育て相談や小児科
- ・国際交流の場にする
- ・防災備蓄もできる

- ・毎60年25000人住めるように
更新する図書館、こども食堂
- ・新旧住民のハートフ
交流できる

② 地域住民の交流の 場や行事があり

人と人をつなげるあせかい
テラスがある

- ・多機能な広場
- ・近くカルチャーセンターの利用
- ・途中にコンベンションホールを利用できる
- ・地域の文化学習や
親子カフェなど、気軽に使える

- ・夏休みには給食やお弁当の会費を減らす
給食を活用。お弁当→食料整理
- ・避難場所
- ・地域の文化の場

大島・渡田

③ 地域の文化と資源を 生かして交流が 生まれるまち

機能とまよて
活用できるか

- ・ツルハート材を活用し
多様な施設
- ・暗く入り口に
バスと見えない外観
入り口
- ・富士見公園との
連携をどうするか?

15人/日

50人/日

15人/日

④ 防災とスポーツを 結びつけて安心安全に 暮らせる街

防災施設がスポーツに活用できる!!

- ・ここ→富士見中
へ行く
- ・大島や富士見にもスポーツ場
- ・図書館が
利用できる

- ・7-11に施設
入れる
- ・防災と
スポーツ
- ・施設が活用できる
人々や多様な施設

大島老人
センター

渡田こども
文化センター

南部身体障害者
福祉会館

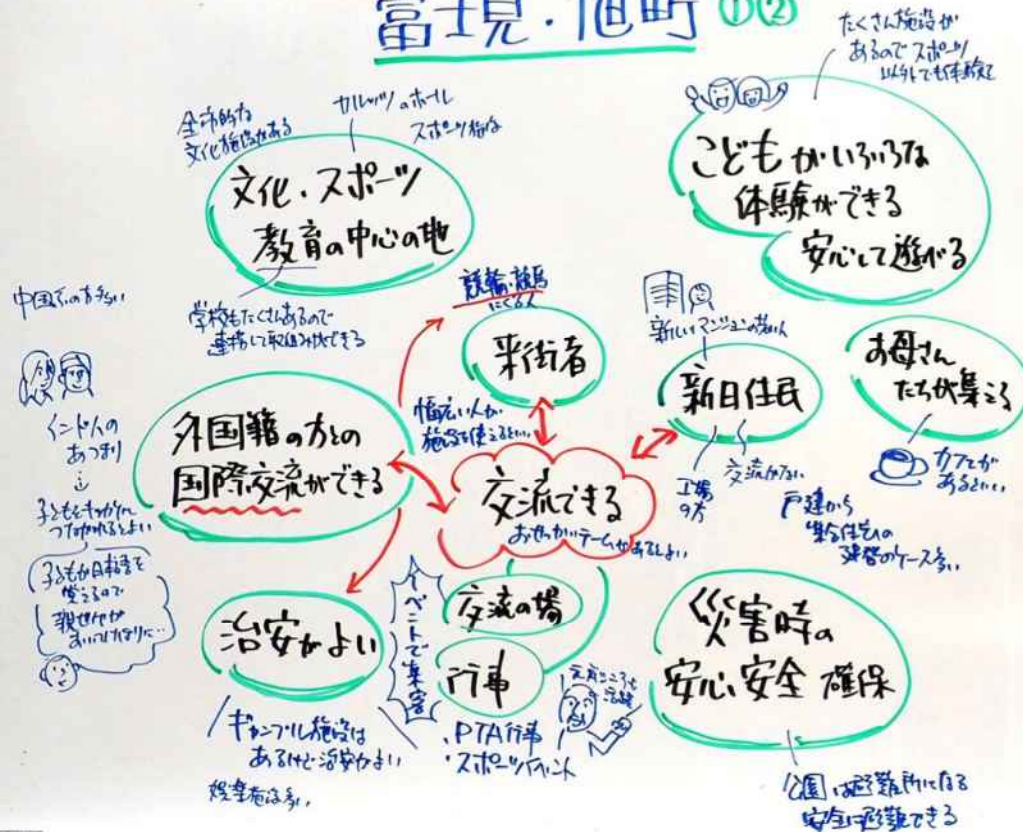
川崎区
大島地区
渡田地区

旭町
こども文化
センター

各グループで出された論点メモ
(富士見・旭町エリア、大島・渡田エリア)

地域 公共施設の未来を考える W S 4 川崎区 各グループで出された論点

富士見・旭町 ①②



大島・渡田 ③④



3

第一部

第3回・第4回の成果を共有し、
感想を出し合おう(60分)

休憩(20分)



4

第二部

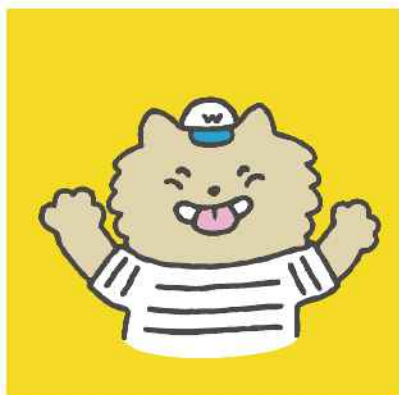
トークセッションを通じて

ワークショップ全体を振り返ろう（50分）

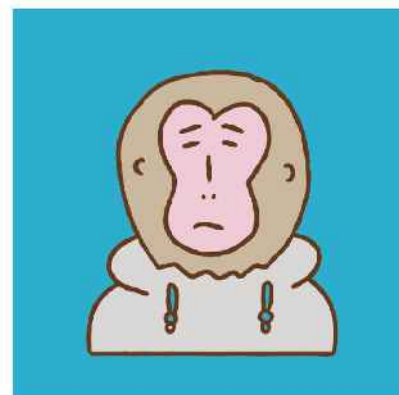
感謝状の贈呈

トークセッション

今の感想



頑張った自分を
ほめたい！



まだまだ意見を
出し合いたい

ワークショップ 1 回目～本日

これまで
の感想

トーク1

公共施設を

取り巻く現状を踏まえ

気づいたこと・

感じたこと

公共施設が

老朽化^ゃあまり
活用されていない

と感^じることが
あります^か？



感じる

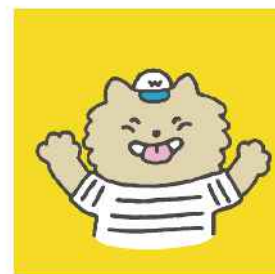


そうでもない

トーク1 公共施設を取り巻く現状を踏まえ、気づいたこと・感じたこと

ワークショップの

参加前・参加後で
公共施設や地域に対する
見方が変化
しましたか？



変化した



そうでもない

トーク 2

公共施設の
今後を考える中で、
気づいたこと・
感じたこと

トーク2 公共施設の今後を考える中で、気づいたこと・感じたこと

これまでのワークショップの中で
公共施設の使い方について
印象に残った
アイデアは何ですか？

第1部の成果をみて
使い方・ニーズなど
印象に残ったもの
共感したもの
はありますか？

公共施設の可能性・
ポテンシャルを
どのように／どのあたりに
感じましたか？

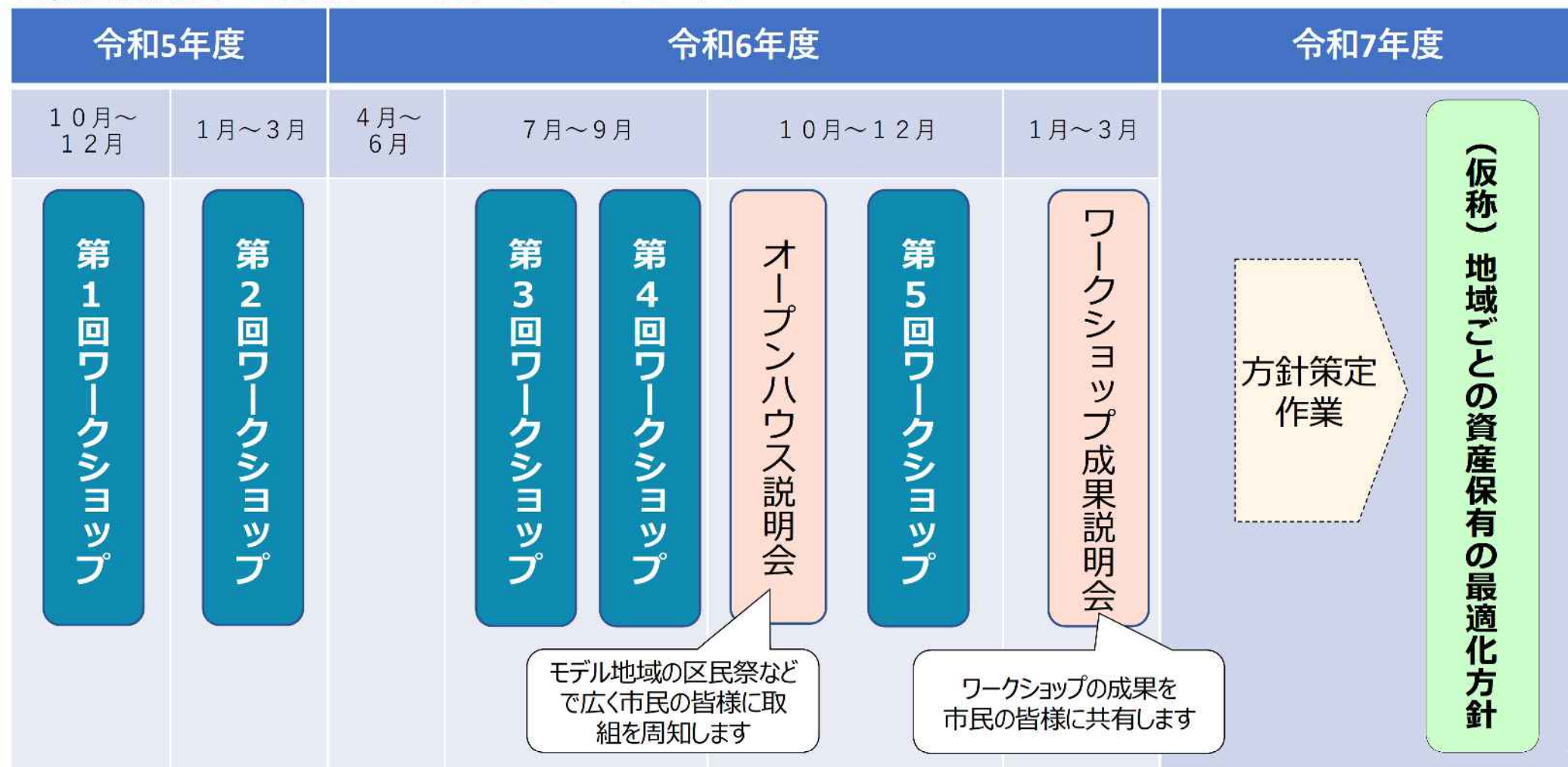
記念撮影

5

今後の予定・アンケート記入

ワークショップについて - スケジュール -

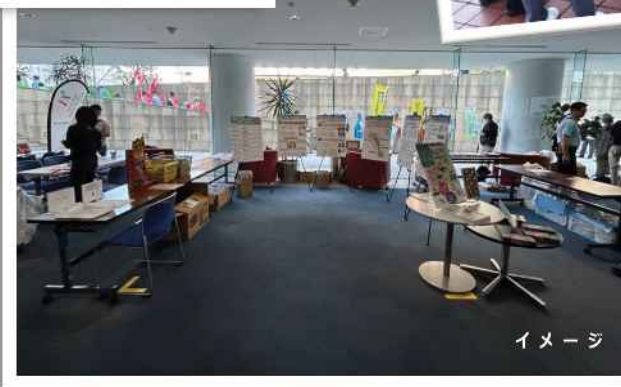
地域ごとの資産保有の最適化に向けた検討を市民の皆様と一緒に進める取組の一つとして、令和5年度からワークショップを実施しており、令和7年度の（仮称）地域ごとの資産保有の最適化方針の策定につなげてまいります。



今後の予定

■ワークショップ成果説明会 令和7年2月～3月頃予定

このワークショップの成果を広く市民の皆さまに周知します。
詳細な日時・場所が決まりましたらお知らせします。



ありがとうございました！

アンケートにご回答いただき、謝礼のお渡しとなります。